

## 1. はじめに

先に、「2.多段配筋矩形 RC 断面に対する許容応力度照査時の M・N 関係図の作成（その 2）」において、許容時の断面仮定から多段配筋断面の許容曲げモーメントの解析式を提示しました。本報では、その解析式を複鉄筋矩形断面に適用し、同様の許容曲げモーメント式を導入することで、マクロを使用せずエクセル表計算により許容曲げモーメントを算出しました。ただし、複鉄筋断面としては、圧縮鉄筋量と引張鉄筋量は同一、圧縮鉄筋および引張鉄筋被りは同一という対称配筋を仮定しています。

以下に、エクセルへの入力データの作成方法や出力の説明、また使用した解析式について記載します。

掲載したエクセルは自由に使用していただいて結構ですが、結果の妥当性判断は使用者に委ねることとします。

## 2. 複鉄筋断面の許容曲げモーメント式

許容曲げモーメント式の提示に対し、複鉄筋矩形断面の対称配筋を仮定する。また、コンクリート応力から鉄筋応力への換算のためのヤング係数比は、圧縮鉄筋および引張鉄筋ともに、 $n (=15)$  を使用することとする。

「2.多段配筋矩形 RC 断面に対する許容応力度照査時の M・N 関係図の作成（その 2）」で提示した許容曲げモーメントの解析式において、複鉄筋断面の条件を適用する。すなわち、配筋を圧縮および引張鉄筋の 2 段とし、圧縮鉄筋量  $A_{sc}$  と引張鉄筋量  $A_{st}$ 、圧縮および引張鉄筋被り  $c_c$  および  $c_t$  について、 $A_{st}=A_{sc}$ 、 $c=c_c=c_t=h-d$  ( $h$ : 部材高、 $d$ : 有効高) を適用する。

上記条件のもとに、4 つのモードに対し、以下の許容曲げモーメント式が得られる。

### 2.1 全断面圧縮時（中立軸比 $k_1 > 1$ ）

中立軸位置が断面外かつ引張縁側にある場合である。中立軸比  $k_1$  を  $k_1=x_1/h$  ( $x_1$ : 圧縮縁から中立軸までの距離、 $h$ : 部材高) で定義したとき、 $k_1 > 1$  となるケースである。

このとき、中立軸比  $k_1$ 、許容曲げモーメント  $M_{a1}$  および圧縮鉄筋応力  $\sigma'_s$  (圧縮正) が、次式の通り書くことができる。ここで、圧縮鉄筋応力の式を提示したのは、本報では圧縮鉄筋が許容応力度に達するモードについては考慮していないことから、以下の 4 つのモードにおいて圧縮鉄筋応力が許容に達していないことをチェックするためである。

$$k_1 = \frac{0.5+np_t}{-\bar{N}_c+1+2np_t} \quad (1)$$

$$\frac{M_{a1}}{bh^2} = \frac{\sigma_{ca}}{k_1} \left\{ k_1^2 - k_1 + \frac{1}{3} + np_t(2k_1^2 - 2k_1 + 2\delta^2 - 2\delta + 1) \right\} + \frac{N}{bh} (0.5 - k_1) \quad (2)$$

$$\frac{\sigma'_s}{\sigma_{sa}} = \frac{k_1+\delta-1}{k_1} \frac{n\sigma_{ca}}{\sigma_{sa}} \quad (3)$$

ここに、 $k_1$ ：中立軸比

$Ma_1$ ：許容曲げモーメント

$N$ ：軸力(圧縮正)

$n$ ：ヤング係数比(=15)

$p_t$ ：引張鉄筋比(= $A_{st}/(bh)$ )、 $A_{st}$ ：引張鉄筋量)

$\bar{N}_c$ ： $\sigma_{ca}$  で無次元した軸力(= $N/(bh \sigma_{ca})$ )

$b$ ：部材幅

$h$ ：部材高

$\sigma_{ca}$ ：コンクリート許容応力度

$\sigma_{sa}$ ：鉄筋許容応力度

$\delta$ ：部材高に対する有効高の比(= $d/h$ )

$d$ ：有効高（圧縮縁から引張鉄筋までの距離）

$\sigma_{s'}$ ：圧縮鉄筋応力(圧縮正)

## 2.2 中立軸断面内かつ圧縮縁が許容時（中立軸比 $k_2$ ： $kb < k_2 < 1$ ）

中立軸が断面内にあり、かつ圧縮縁コンクリートが許容応力度に達する場合である。中立軸比  $k_2$  を  $k_2 = x_2/h$  ( $x_2$ ：圧縮縁から中立軸までの距離、 $h$ ：部材高) で定義したとき、 $kb < k_2 < 1$  となるケースである。ここに、 $kb$  は圧縮縁と引張鉄筋が同時に許容応力度に達するとき（釣合時）の中立軸比である。このとき、中立軸比  $k_2$ 、許容曲げモーメント  $Ma_2$  および圧縮鉄筋応力  $\sigma_{s'}$ （圧縮正）が、次式の通り書くことができる。

$$k_b = \frac{\delta}{\frac{\sigma_{sa}}{n\sigma_{ca}} + 1} \quad (4)$$

$$k_2 = \bar{N}_c - 2np_t + \sqrt{(\bar{N}_c - 2np_t)^2 + 2np_t} \quad (5)$$

$$\frac{Ma_2}{bh^2} = \frac{\sigma_{ca}}{k_2} \left\{ \frac{k_2^3}{3} + np_t(2k_2^2 - 2k_2 + 2\delta^2 - 2\delta + 1) \right\} + \frac{N}{bh} (0.5 - k_2) \quad (6)$$

$$\frac{\sigma_{s'}}{\sigma_{sa}} = \frac{k_2 + \delta - 1}{k_2} \frac{n\sigma_{ca}}{\sigma_{sa}} \quad (7)$$

ここに、 $kb$ ：釣合時の中立軸比 (= $xb/h$ )

$xb$ ：釣合時の中立軸位置

$k_2$ ：中立軸比

$Ma_2$ ：許容曲げモーメント

$N$ ：軸力(圧縮正)

$n$ ：ヤング係数比(=15)

$p_t$ ：引張鉄筋比(= $A_{st}/(bh)$ )、 $A_{st}$ ：引張鉄筋量)

$\bar{N}_c$ ： $\sigma_{ca}$  で無次元した軸力(= $N/(bh \sigma_{ca})$ )

$b$ ：部材幅

$h$ ：部材高

$\sigma_{ca}$ ：コンクリート許容応力度

$\sigma_{sa}$ ：鉄筋許容応力度

$\delta$  : 部材高に対する有効高の比(=d/h)

d : 有効高 (圧縮縁から引張鉄筋までの距離)

$\sigma_s'$  : 圧縮鉄筋応力(圧縮正)

### 2.3 中立軸断面内かつ引張が許容時 (中立軸比 $k_3$ : $0 < k_3 < k_b$ )

中立軸が断面内にあり、かつ引張鉄筋が許容応力度に達する場合である。中立軸比  $k_3$  を  $k_3 = x_3/h$  ( $x_3$  : 圧縮縁から中立軸までの距離、 $h$  : 部材高) で定義したとき、 $0 < k_3 < k_b$  となるケースである。ここに、 $k_b$  は圧縮縁と引張鉄筋が同時に許容応力度に達するとき (釣合時) の中立軸比である。このとき、中立軸比  $k_3$ 、許容曲げモーメント  $Ma_3$  および圧縮鉄筋応力  $\sigma_s'$  (圧縮正) が、次式の通り書くことができる。

$$k_b = \frac{\delta}{\frac{\sigma_{sa}}{n\sigma_{ca}} + 1} \quad (8)$$

$$k_3 = -n(\bar{N}_s + 2p_t) + \sqrt{n^2(\bar{N}_s + 2p_t)^2 + 2n(p_t + \bar{N}_s\delta)} \quad (9)$$

$$\frac{Ma_3}{bh^2} = \frac{\sigma_{sa}}{n(\delta - k_3)} \left\{ \frac{k_3^3}{3} + np_t(2k_3^2 - 2k_3 + 2\delta^2 - 2\delta + 1) \right\} + \frac{N}{bh}(0.5 - k_3) \quad (10)$$

$$\frac{\sigma_s'}{\sigma_{sa}} = \frac{k_3 + \delta - 1}{\delta - k_3} \quad (11)$$

ここに、 $k_b$  : 釣合時の中立軸比 (=xb/h)

xb : 釣合時の中立軸位置

$k_3$  : 中立軸比

$Ma_3$  : 許容曲げモーメント

$N$  : 軸力(圧縮正)

$n$  : ヤング係数比(=15)

pt : 引張鉄筋比(=Ast/(bh)、Ast : 引張鉄筋量)

$\bar{N}_s$  :  $\sigma_{sa}$  で無次元した軸力(= $N/(bh \sigma_{sa})$ )

b : 部材幅

h : 部材高

$\sigma_{ca}$  : コンクリート許容応力度

$\sigma_{sa}$  : 鉄筋許容応力度

$\delta$  : 部材高に対する有効高の比(=d/h)

d : 有効高 (圧縮縁から引張鉄筋までの距離)

$\sigma_s'$  : 圧縮鉄筋応力(圧縮正)

### 2.4 全断面引張時 (中立軸比 $k_4 < 0$ )

中立軸位置が断面外かつ圧縮縁側にある場合である。中立軸比  $k_4$  を  $k_4 = x_4/h$  ( $x_4$  : 圧縮縁から中立軸までの距離、 $h$  : 部材高) で定義したとき、 $k_4 < 0$  となるケースである。

このとき、中立軸比  $k_4$ 、許容曲げモーメント  $Ma_4$  および圧縮鉄筋応力  $\sigma_s'$  (圧縮正) が、次式の通り書くことができる。

なお、本ケースの許容曲げモーメント式は、「2.多段配筋矩形 RC 断面に対する許容応力度照査時の M-N 関係図の作成（その 2）」で提示した解析式から導出できる。複鉄筋断面に対する中立軸比の式(12)を用いて許容曲げモーメント式を求めることで、式(13)に示す中立軸比  $k_4$  に依存しない式が得られる。

$$k_4 = \frac{\bar{N}_s \delta + p_t}{\bar{N}_s + 2p_t} \quad (12)$$

$$\frac{M_{a4}}{bh^2} = \frac{\sigma_{sa}}{2} (2\delta - 1)(2p_t + \bar{N}_s) \quad (13)$$

$$\frac{\sigma'_s}{\sigma_{sa}} = \frac{k_4 + \delta - 1}{\delta - k_4} \quad (14)$$

ここに、 $k_4$ ：中立軸比

$M_{a4}$ ：許容曲げモーメント

$N$ ：軸力(圧縮正)

$n$ ：ヤング係数比(=15)

$p_t$ ：引張鉄筋比(= $A_{st}/(bh)$ )、 $A_{st}$ ：引張鉄筋量

$\bar{N}_s$ ： $\sigma_{sa}$  で無次元した軸力(= $N/(bh \sigma_{sa})$ )

$b$ ：部材幅

$h$ ：部材高

$\sigma_{sa}$ ：鉄筋許容応力度

$\delta$ ：部材高に対する有効高の比(= $d/h$ )

$d$ ：有効高（圧縮縁から引張鉄筋までの距離）

$\sigma'_s$ ：圧縮鉄筋応力(圧縮正)

### 3. エクセルの入出力データ

#### 3.1 ワークシート「入力データ」

ワークシート「入力データ」に、断面諸元等の入力パラメータを作成する。複数のパラメータを入力することで、複数データの処理が可能である。

入力パラメータは、以下の通りである。

##### (1)番号

データの数だけ 1 から順にデータ番号を入力する。

##### (2)部材高 $h$ (cm)

部材高を cm 単位で入力する。

##### (3)部材幅 $b$ (cm)

部材幅を cm 単位で入力する。

##### (4)コンクリート許容応力度 $\sigma_{ca}$ (N/mm<sup>2</sup>)

コンクリート許容応力度を、N/mm<sup>2</sup> 単位で入力する。

##### (5)鉄筋許容応力度 $\sigma_{sa}$ (N/mm<sup>2</sup>)

鉄筋許容応力度を、N/mm<sup>2</sup> 単位で入力する。

##### (6)引張鉄筋量 $A_{st}$ (cm<sup>2</sup>)

引張鉄筋量を cm<sup>2</sup> 単位で入力する。対称配筋を仮定しているので、圧縮鉄筋量  $A_{sc}$  は  $A_{sc}=A_{st}$  によ

り設定される。

#### (7)鉄筋被り $c(\text{cm})$

鉄筋被りを  $\text{cm}$  単位で入力する。ここに、引張鉄筋の被りは、引張縁から引張鉄筋中心までの距離である。また、圧縮鉄筋被りは対称配筋を仮定しているため、引張鉄筋被りと同一に設定される。

#### (8)軸力 $N(\text{kN})$

部材断面に作用する軸力を、 $\text{kN}$  単位で入力する。圧縮力を正として定義し、負値は引張力を意味する。

本ワークシートは、許容曲げモーメント等の計算値についても出力される。

本ワークシートへの出力値は、以下の通りである。

#### (1)モード

計算された中立軸位置に応じて、4つのモードのうち一つを出力する。4つのモードは、全断面圧縮時、中立軸断面内で圧縮縁許容時、中立軸断面内で引張鉄筋許容時、および全断面引張時である。それぞれ、「圧縮」、「コン許容」、「鉄筋許容」、および「引張」で表示される。

#### (2)中立軸比 $k$

中立軸位置  $x$  (圧縮縁からの距離) のとき、 $k=x/h$  ( $h$ : 部材高) で定義される中立軸比を出力する。ここに、中立軸比が有効高ではなく部材高に対する比で定義していることに注意する。

#### (3)中立軸位置 $x(\text{cm})$

中立軸位置を、 $\text{cm}$  単位で出力する。

#### (4)許容曲げモーメント $M_a(\text{kNm})$

許容曲げモーメントを、 $\text{kNm}$  単位で出力する。

#### (5) $M_a/(bh^2)$ ( $\text{N/mm}^2$ )

応力単位で表示した許容曲げモーメントを、 $\text{N/mm}^2$  単位で出力する。この出力の目的は、軸力とともに応力単位で出力・グラフ化したとき、部材幅  $b$  と部材高  $h$  に無関係に表示できるためである。

#### (6) $N/(bh)$ ( $\text{N/mm}^2$ )

応力単位で表示した軸力 (軸応力) を、 $\text{N/mm}^2$  単位で出力する。

#### (7)圧縮鉄筋 $\sigma_s'/\sigma_{sa}$ (圧縮正)

圧縮鉄筋の照査値 (許容応力度に対する比) を出力する。本エクセルでは、圧縮鉄筋が許容応力度に達するモードを考慮していないことから、許容曲げモーメント時の圧縮鉄筋応力をチェックするために本照査値を出力している。本照査値が絶対値 1.0 以内であれば問題ないが、1.0 を超えている場合には圧縮鉄筋が許容応力度に達しているため別途検討が必要になる。

#### (8) $N_{\max}$

最大軸力を表示する。純圧縮状態でコンクリート応力が許容応力度に達したときの軸力とし、次式で算出している。この  $N_{\max}$  よりも大きい軸力に対しては解が求まらない。

$$N_{\max} = bh\sigma_{ca} + 2nbh\rho_t\sigma_{ca}$$

ここに、 $b$ : 部材幅、 $h$ : 部材高、 $\sigma_{ca}$ : コンクリート許容応力度、 $n$ : ヤング係数比、 $\rho_t$ : 引張鉄筋比

#### (9) $N_{\min}$

最小軸力を表示する。純引張状態で鉄筋応力が許容応力度に達したときの軸力とし、次式で算出している。この  $N_{\min}$  よりも小さい軸力に対しては解が求まらない。

$$N_{min} = -2bhpt\sigma_{sa}$$

ここに、b：部材幅、h：部材高、 $\sigma_{sa}$ ：鉄筋許容応力度、pt：引張鉄筋比

図 3.1-1 に、ワークシート「入力データ」の例を示す。

番号	部材高 h(cm)	部材幅 b(cm)	コン許容 $\sigma_{ca}$ (N/mm <sup>2</sup> )	鉄筋許容 $\sigma_{sa}$ (N/mm <sup>2</sup> )	引張 鉄筋量 Ast(cm <sup>2</sup> )	鉄筋振り c(cm)	軸力 N(kN)	モード	中立軸比 k (=x/h)	中立軸 位置 x(cm)	許容曲げ モーメント Ma (kNm)	Ma/(bh <sup>2</sup> ) (N/mm <sup>2</sup> )	N/(bh) (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮鉄筋 ( $\sigma_s/\sigma_{sa}$ ) (圧縮正)	Nmax (kN)	Nmin (kN)
1	80	100	8	180	22.92	10	-800	引張	-11.4427	-915.414	7.536	0.0118	-1.0000	-0.939	6950.08	-825.12
2	80	100	8	180	22.92	10	-700	引張	-1.5980	-127.839	37.536	0.0587	-0.8750	-0.697	6950.08	-825.12
3	80	100	8	180	22.92	10	-600	引張	-0.4995	-39.957	67.536	0.1055	-0.7500	-0.454	6950.08	-825.12
4	80	100	8	180	22.92	10	-500	引張	-0.0767	-6.137	97.536	0.1524	-0.6250	-0.212	6950.08	-825.12
5	80	100	8	180	22.92	10	-400	鉄筋許容	0.0782	6.253	130.449	0.2038	-0.5000	-0.059	6950.08	-825.12
6	80	100	8	180	22.92	10	-300	鉄筋許容	0.1304	10.430	164.684	0.2573	-0.3750	0.007	6950.08	-825.12
7	80	100	8	180	22.92	10	-200	鉄筋許容	0.1667	13.335	197.995	0.3094	-0.2500	0.059	6950.08	-825.12
8	80	100	8	180	22.92	10	-100	鉄筋許容	0.1954	15.635	230.455	0.3601	-0.1250	0.104	6950.08	-825.12
9	80	100	8	180	22.92	10	0	鉄筋許容	0.2196	17.565	262.170	0.4096	0.0000	0.144	6950.08	-825.12
10	80	100	8	180	22.92	10	100	鉄筋許容	0.2405	19.238	293.229	0.4582	0.1250	0.182	6950.08	-825.12
11	80	100	8	180	22.92	10	200	鉄筋許容	0.2590	20.721	323.705	0.5056	0.2500	0.218	6950.08	-825.12
12	80	100	8	180	22.92	10	300	鉄筋許容	0.2757	22.056	353.657	0.5526	0.3750	0.251	6950.08	-825.12
13	80	100	8	180	22.92	10	400	鉄筋許容	0.2909	23.272	383.132	0.5986	0.5000	0.284	6950.08	-825.12
14	80	100	8	180	22.92	10	500	鉄筋許容	0.3049	24.388	412.172	0.6440	0.6250	0.315	6950.08	-825.12
15	80	100	8	180	22.92	10	600	鉄筋許容	0.3178	25.422	440.811	0.6888	0.7500	0.346	6950.08	-825.12
16	80	100	8	180	22.92	10	700	鉄筋許容	0.3298	26.384	469.079	0.7329	0.8750	0.376	6950.08	-825.12
17	80	100	8	180	22.92	10	800	鉄筋許容	0.3411	27.284	497.002	0.7766	1.0000	0.405	6950.08	-825.12
18	80	100	8	180	22.92	10	900	コン許容	0.3529	28.232	520.798	0.8137	1.1250	0.431	6950.08	-825.12
19	80	100	8	180	22.92	10	1000	コン許容	0.3718	29.743	524.384	0.8194	1.2500	0.443	6950.08	-825.12
20	80	100	8	180	22.92	10	1100	コン許容	0.3914	31.314	528.382	0.8256	1.3750	0.454	6950.08	-825.12
21	80	100	8	180	22.92	10	1200	コン許容	0.4118	32.945	532.676	0.8323	1.5000	0.464	6950.08	-825.12
22	80	100	8	180	22.92	10	1300	コン許容	0.4329	34.632	537.147	0.8393	1.6250	0.474	6950.08	-825.12
23	80	100	8	180	22.92	10	1400	コン許容	0.4546	36.372	541.675	0.8464	1.7500	0.483	6950.08	-825.12
24	80	100	8	180	22.92	10	1500	コン許容	0.4770	38.162	546.143	0.8533	1.8750	0.492	6950.08	-825.12
25	80	100	8	180	22.92	10	1600	コン許容	0.5000	40.000	550.435	0.8601	2.0000	0.500	6950.08	-825.12
26	80	100	8	180	22.92	10	1700	コン許容	0.5235	41.892	554.438	0.8663	2.1250	0.507	6950.08	-825.12
27	80	100	8	180	22.92	10	1800	コン許容	0.5476	43.805	558.047	0.8719	2.2500	0.514	6950.08	-825.12
28	80	100	8	180	22.92	10	1900	コン許容	0.5721	45.767	561.162	0.8768	2.3750	0.521	6950.08	-825.12

対称配筋を仮定  
(圧縮鉄筋量と引張鉄筋量は同じ、圧縮鉄筋振りと引張鉄筋振りは同じ)

圧縮鉄筋が許容に達するときは非考慮  
(Abs( $\sigma_s/\sigma_{sa}$ )\*1.0を確認すること)

図 3.1-1 ワークシート「入力データ」の例（一部）

### 3.2 ワークシート「k および Ma の計算」

2.に記載した解析式により、中立軸比と許容曲げモーメントを計算するためのワークシートである。本ワークシートの出力項目は、以下の通りである。

- (1)番号
- (2)部材高 h(m)
- (3)部材幅 b(m)
- (4)  $\sigma_{ca}$ (kN/m<sup>2</sup>)：コンクリート許容応力度
- (5)  $\sigma_{sa}$ (kN/m<sup>2</sup>)：鉄筋許容応力度
- (6)有効高 d(m)
- (7)引張鉄筋比 pt(小数)：pt=Ast/(bh)、Ast：引張鉄筋量
- (8)  $\delta$  (=d/h)：部材高に対する有効高の比
- (9)N(kN)：軸力
- (10)N/(bh  $\sigma_{ca}$ )：  $\sigma_{ca}$  で定義した無次元化軸力
- (11)N/(bh  $\sigma_{sa}$ )：  $\sigma_{sa}$  で定義した無次元化軸力
- (12)n：ヤング係数比(=15)
- (13)kb：釣合時の中立軸比
- (14)xb(m)：釣合時の中立軸位置
- (15)k1：全断面圧縮時の中立軸比
- (16)Ma1/(bh<sup>2</sup>)(kN/m<sup>2</sup>)：全断面圧縮時の許容曲げモーメント（応力表示）

(17)k<sub>2</sub>：中立軸断面内で圧縮縁が許容時の中立軸比

(18)Ma<sub>2</sub>/(bh<sup>2</sup>)(kN/m<sup>2</sup>)：中立軸断面内で圧縮縁が許容時の許容曲げモーメント（応力表示）

(19)k<sub>3</sub>：中立軸断面内で引張鉄筋許容時の中立軸比

(20)Ma<sub>3</sub>/(bh<sup>2</sup>)(kN/m<sup>2</sup>)：中立軸断面内で引張鉄筋許容時の許容曲げモーメント（応力表示）

(21)k<sub>4</sub>：全断面引張時の中立軸比

(22)Ma<sub>4</sub>/(bh<sup>2</sup>)(kN/m<sup>2</sup>)：全断面引張時の許容曲げモーメント（応力表示）

(23)モード：「圧縮」、「コン許容」、「鉄筋許容」、および「引張」の表示

(24)k(=x/h)：中立軸比

(25)x(cm)：中立軸位置

(26)Ma/(bh<sup>2</sup>)(kN/m<sup>2</sup>)：許容曲げモーメント（kN/m<sup>2</sup>での応力表示）

(27)Ma/(bh<sup>2</sup>)(N/mm<sup>2</sup>)：許容曲げモーメント（N/mm<sup>2</sup>での応力表示）

(28)Ma(kNm)：許容曲げモーメント

(29)σ s'/σ sa（圧縮正）：圧縮鉄筋応力の照査値（許容応力度に対する比）

(30)Nmax：最大軸力

(31)Nmin：最小軸力

図 3.2-1 に、ワークシート「k および Ma の計算」の例を示す。

										15																				
部材高 h(mm)		部材幅 b(mm)		σ ca (N/mm <sup>2</sup> )	σ sa (N/mm <sup>2</sup> )	有効ス レム d(mm)	引張 鉄筋比 ρ (%)	δ (mm)	N (kN)	N/ bσ ca (N/mm <sup>2</sup> )	N/ bσ sa (N/mm <sup>2</sup> )	n	kb	nb (mm)	σ s' (N/mm <sup>2</sup> )	σ sa (N/mm <sup>2</sup> )	モード	x (mm)	x (h/h)	Ma/ bσ sa (N/mm <sup>2</sup> )	Ma/ bσ s' (N/mm <sup>2</sup> )	σ s'/σ sa	Nmax (kN)	Nmin (kN)						
1	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-800	-0.125	-0.00556	15	0.35	0.28	0.445380	1702.458	0.152228	914.010	—	—	-11.4427	-915.414	11.775	0.011775	7.536	-0.9391	6950.08	-925.12			
2	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-700	-0.10938	-0.00486	15	0.35	0.28	0.454240	1680.49	0.159589	897.1217	—	—	-1.59789	-127.839	58.85	0.05885	37.538	-0.89672	6950.08	-925.12			
3	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-600	-0.09375	-0.00417	15	0.35	0.28	0.460265	1658.523	0.164163	881.403	—	—	-0.49947	-105.525	10.525	0.10525	67.538	-0.49433	6950.08	-925.12			
4	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-500	-0.07813	-0.00347	15	0.35	0.28	0.466443	1636.556	0.171887	866.9227	—	—	-0.07871	-15.24	0.1524	0.1524	97.538	-0.21184	6950.08	-925.12			
5	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-400	-0.0625	-0.00278	15	0.35	0.28	0.472789	1614.589	0.180164	853.7472	0.078168	203.8273	0.147158	199.275	鉄筋許容	0.078168	6.253448	203.8273	0.203827	130.4485	-0.08877	6950.08	-925.12
6	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-300	-0.04688	-0.00208	15	0.35	0.28	0.479331	1592.622	0.190303	841.9394	0.13038	16.4304	257.3189	257.319	鉄筋許容	0.13038	16.4304	257.3189	257.319	144.6841	0.007225	6950.08	-925.12
7	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-200	-0.03125	-0.00139	15	0.35	0.28	0.486014	1570.655	0.198531	831.5557	0.166685	309.3674	0.380023	283.025	鉄筋許容	0.166685	13.33477	309.3674	0.200387	197.9951	0.05885	6950.08	-925.12
8	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	-100	-0.01563	-0.00069	15	0.35	0.28	0.492908	1548.688	0.206895	822.6442	0.195439	360.0854	0.448284	339.9	鉄筋許容	0.195439	15.63314	360.0854	0.260055	230.4548	0.103854	6950.08	-925.12
9	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	0	0	0	15	0.35	0.28	0.5	1528.721	0.219552	812.4114	0.219552	409.6399	0.5	398.775	鉄筋許容	0.219552	17.56404	409.6399	0.400864	282.1695	0.144272	6950.08	-925.12
10	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	100	0.015625	0.000894	15	0.35	0.28	0.507299	1504.754	0.231164	809.3696	0.24048	458.1705	0.540535	433.65	鉄筋許容	0.24048	15.81705	458.1705	0.282291	181.8996	6950.08	-925.12	
11	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	200	0.03125	0.001389	15	0.35	0.28	0.514815	1482.787	0.243532	805.0344	0.259019	505.7896	0.573162	480.525	鉄筋許容	0.259019	20.72148	505.7896	0.350978	323.7054	0.217569	6950.08	-925.12
12	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	300	0.046875	0.002083	15	0.35	0.28	0.522256	1460.82	0.256969	802.2177	0.275704	592.5888	0.599699	527.4	鉄筋許容	0.275704	22.0593	592.5888	0.452588	353.6588	0.251468	6950.08	-925.12
13	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	400	0.0625	0.002778	15	0.35	0.28	0.530534	1438.853	0.270559	800.896	0.290898	598.6437	0.622437	574.275	鉄筋許容	0.290898	23.27166	598.6437	0.558844	383.132	0.284017	6950.08	-925.12
14	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	500	0.078125	0.003472	15	0.35	0.28	0.538759	1416.886	0.285452	800.993	0.304954	644.0182	0.641487	621.15	鉄筋許容	0.304954	24.38831	644.0182	0.644018	412.1716	0.315452	6950.08	-925.12
15	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	600	0.09375	0.004167	15	0.35	0.28	0.547243	1394.919	0.301076	802.4503	0.317771	688.7685	0.676781	668.025	鉄筋許容	0.317771	25.42171	688.7685	0.689766	440.8105	0.340947	6950.08	-925.12
16	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	700	0.109375	0.004861	15	0.35	0.28	0.555991	1372.952	0.317532	805.1451	0.329798	732.9355	0.672118	714.9	鉄筋許容	0.329798	26.38381	732.9355	0.732938	489.0787	0.375836	6950.08	-925.12
17	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	800	0.125	0.005556	15	0.35	0.28	0.56504	1350.985	0.324812	808.3586	0.34105	776.5662	0.684602	761.775	鉄筋許容	0.34105	27.28401	776.5662	0.776566	497.0024	0.404626	6950.08	-925.12
18	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	900	0.140625	0.00625	15	0.35	0.28	0.574379	1329.018	0.332002	813.7489	0.351623	819.6847	0.695839	806.65	コン許容	0.352002	28.22216	813.7489	0.813747	520.798	0.430329	6950.08	-925.12
19	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1000	0.15625	0.006944	15	0.35	0.28	0.584032	1307.051	0.337173	819.3504	0.361595	882.3527	0.705466	855.525	コン許容	0.371783	29.74265	819.3504	0.81935	524.3843	0.445252	6950.08	-925.12
20	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1100	0.171875	0.007639	15	0.35	0.28	0.594016	1285.084	0.34143	825.9869	0.37103	904.569	0.714272	902.4	コン許容	0.39143	31.31437	825.9869	0.825987	526.382	0.453772	6950.08	-925.12
21	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1200	0.1875	0.008333	15	0.35	0.28	0.604346	1263.117	0.41812	832.3058	0.379981	946.3691	0.722209	849.205	コン許容	0.41812	32.84495	832.3058	0.832306	532.6757	0.464309	6950.08	-925.12
22	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1300	0.203125	0.009028	15	0.35	0.28	0.615043	1241.15	0.432896	839.2917	0.386496	987.7763	0.729399	996.15	コン許容	0.432896	34.63171	839.2917	0.839292	537.1487	0.474165	6950.08	-925.12
23	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1400	0.21875	0.009722	15	0.35	0.28	0.626124	1219.183	0.445460	846.3077	0.396613	1028.812	0.735942	1043.025	コン許容	0.445460	36.3718	846.3077	0.846368	541.6753	0.483274	6950.08	-925.12
24	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1500	0.234375	0.010417	15	0.35	0.28	0.637613	1197.217	0.470728	853.3486	0.405467	1069.494	0.741923	1089.9	コン許容	0.470728	38.16225	853.3486	0.853349	546.1432	0.491974	6950.08	-925.12
25	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1600	0.25	0.011111	15	0.35	0.28	0.64953	1175.25	0.5	860.0542	0.41787	1109.842	0.74741	1136.775	コン許容	0.5	40	860.0542	0.86054	550.4347	0.5	6950.08	-925.12
26	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1700	0.265625	0.011806	15	0.35	0.28	0.661902	1153.283	0.523525	868.3042	0.418889	1160.871	0.754463	1181.65	コン許容	0.523525	41.88203	868.3042	0.868307	554.4382	0.505749	6950.08	-925.12
27	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1800	0.28125	0.0125	15	0.35	0.28	0.674755	1131.318	0.547587	871.9482	0.425728	1189.596	0.757131	1230.525	コン許容	0.547587	43.80537	871.9482	0.871949	558.0475	0.514478	6950.08	-925.12
28	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	1900	0.296875	0.013184	15	0.35	0.28	0.688118	1109.249	0.572089	878.8158	0.432293	1229.031	0.761456	1277.4	コン許容	0.572089	45.78711	878.8158	0.878818	561.162	0.521002	6950.08	-925.12
29	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2000	0.3125	0.013889	15	0.35	0.28	0.701707	1087.282	0.597058	880.7818	0.436812	1268.18	0.765475	1324.275	コン許容	0.597058	47.7645	880.7818	0.880762	563.6375	0.527093	6950.08	-925.12
30	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2100	0.328125	0.014583	15	0.35	0.28	0.714691	1065.415	0.622408	885.6506	0.444703	1307.08	0.76922	1371.15	コン許容	0.622408	49.79491	885.6506	0.883651	565.5384	0.532784	6950.08	-925.12
31	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2200	0.34375	0.015278	15	0.35	0.28	0.728157	1043.448	0.646188	895.355	0.450579	1345.718	0.772716	1418.025	コン許容	0.646188	51.85586	895.355	0.885353	568.6272	0.538105	6950.08	-925.12
32	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2300	0.359375	0.015972	15	0.35	0.28	0.741308	1021.481	0.674313	885.7578	0.456255	1384.112	0.775989	1464.9	コン許容	0.674313	53.94854	885.7578	0.885759	568.8291	0.543084	6950.08	-925.12
33	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2400	0.375	0.016667	15	0.35	0.28	0.754459	1000.514	0.698418	890.8709	0.461928	1423.06	0.779072	1516.775	コン許容	0.698418	56.00021	890.8709	0.89087	570.0024	0.549816	6950.08	-925.12
34	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2500	0.390625	0.017372	15	0.35	0.28	0.768094	979.547	0.72495	882.28	0.467051	1480.118	0.78158	1558.85	コン許容	0.72495	58.0458	882.28	0.88228	584.0332	0.552118	6950.08	-925.12
35	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2600	0.40625	0.018069	15	0.35	0.28	0.782016	958.58	0.75142	883.59	0.47164	1541.325	0.78456	1617.4	コン許容	0.75142	60.1009	883.59	0.88359	586.162	0.555332	6950.08	-925.12
36	0.8	1	8000	18000	0.7	0.002865	0.875	2700	0.421875	0.018775	15	0.35	0.28	0.796311	937.613	0.779123	872.35	0.476771	1555.435	0.788244	1652.7	コン許容	0.779123	62.1452	872.35	0.87235	588			

## 4. 計算例

### 4.1 計算条件

計算例の断面諸元を、表 4.1-1 に示す。配筋条件は、複鉄筋の対称配筋とした。

軸力値を-800～6900kN まで 100kN 刻みで変動させ、それぞれの許容曲げモーメントを算出した。

表 4.1-1 断面諸元

諸元	値	備考
部材高 $h(\text{cm})$	80	
部材幅 $b(\text{cm})$	100	
コンクリート許容応力度 $\sigma_{ca}(\text{N/mm}^2)$	8	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を想定
鉄筋許容応力度 $\sigma_{sa}(\text{N/mm}^2)$	180	SD295 を想定
引張鉄筋量 $A_{st}(\text{cm}^2)$	22.92 (D19@125)	$p_t=A_{st}/(bh)=0.002865$
鉄筋被り $c(\text{cm})$	10	$c/h=0.125$
軸力 $N(\text{kN})$	-800～6900 (100 刻み)	

### 4.2 計算結果

図 4.2-1(a)および(b)に、本エクセルによる計算結果を、 $M$ - $N$  関係として示した。同図にはそれぞれ別マクロ 1「多段配筋矩形 RC 断面に対する許容応力度照査時の  $M$ - $N$  関係図の作成 (その 2)」および別マクロ 2「多段配筋矩形 RC 断面に対する許容応力度照査時の  $M$ - $N$  関係図の作成」による計算結果も併記した。図によれば、両者の結果がほぼ一致していることがわかる。

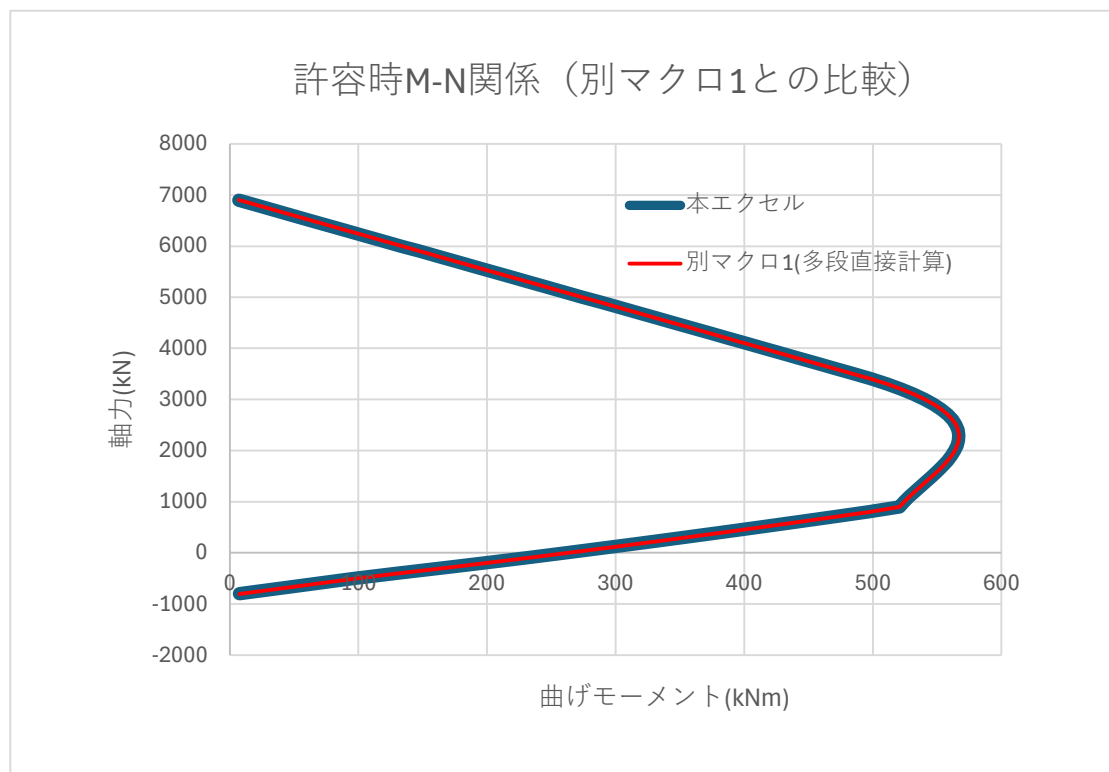


図 4.2-1(a) 計算結果 (別マクロ 1 の結果を併記)



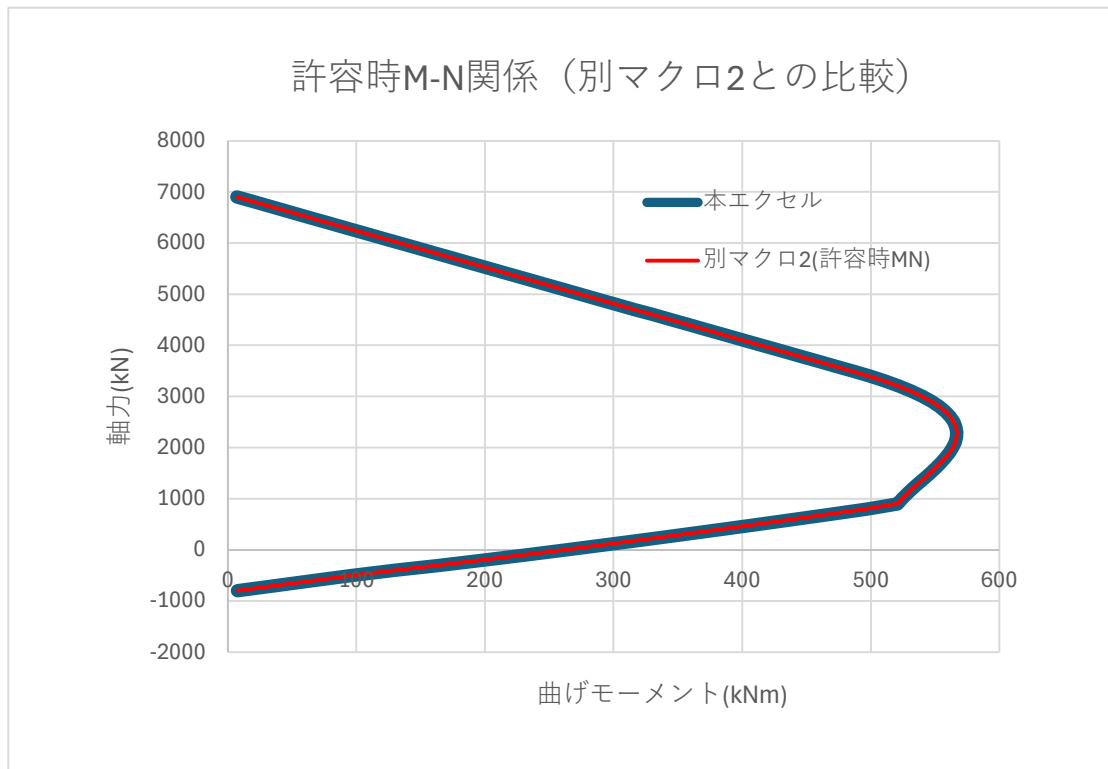


図 4.2-1(b) 計算結果（別マクロ 2 の結果を併記）

図 4.2-1(c)に、軸応力  $N/(bh)$  と応力度表示の許容曲げモーメント  $Ma/(bh^2)$  の関係を示す。

同図の表記によれば、許容応力度、引張鉄筋比  $pt$  および部材高に対する鉄筋被りの比  $c/h$  が同一のとき、部材高さ  $h$  と部材幅  $b$  に依らず適用可能となる。

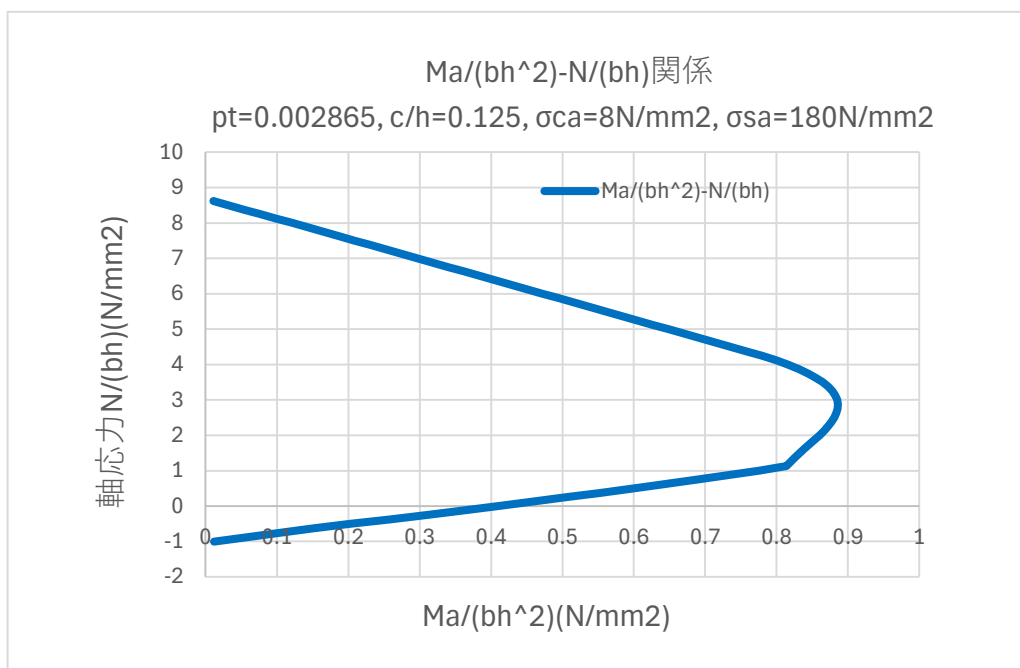


図 4.2-1(c) 計算結果（応力度表示の許容曲げモーメント）

図 4.2-2 に、軸力変化による許容時における中立軸比を示す。

図によれば、4つのモードによる中立軸比  $k_1$ 、 $k_2$ 、 $k_3$  および  $k_4$  が存在するが、軸力変化に伴ってモードが変遷し、軸力増大によって  $k_4 \rightarrow k_3 \rightarrow k_2 \rightarrow k_1$  と中立軸比が移っていく様子がわかる。

図 4.2-3 に、許容時における圧縮鉄筋応力  $\sigma_s'$  の照査値（許容応力度に対する比）を示す。

図によれば、対象とした軸力の範囲内において、照査値の絶対値が 1.0 以下であり、圧縮鉄筋応力が許容応力度以内であることがわかる。

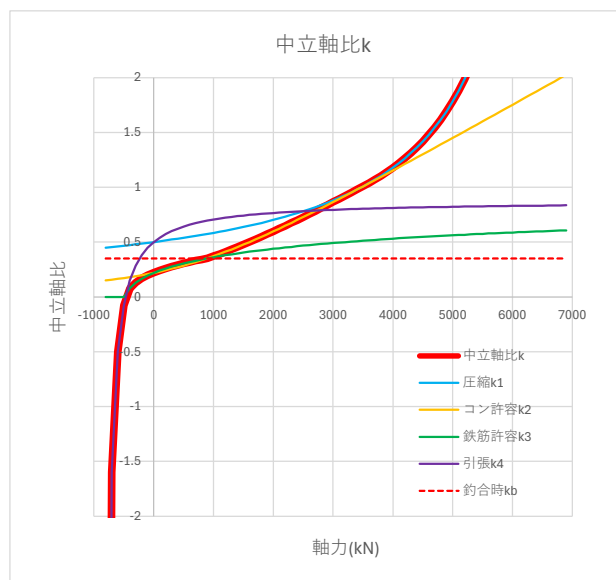


図 4.2-2 軸力による中立軸比の変化

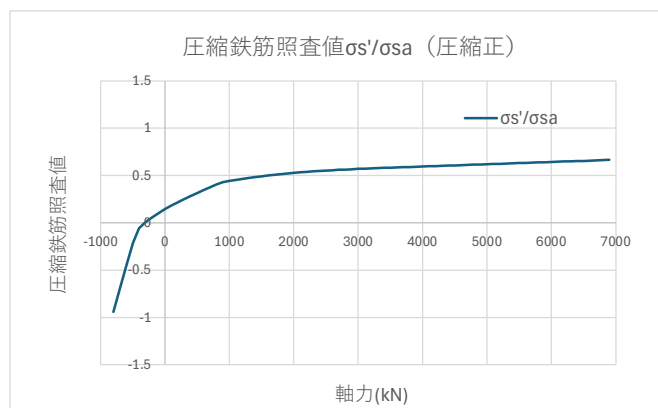


図 4.2-3 圧縮鉄筋応力の照査値